

# プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.31

2020年11月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



診療科紹介

～治せる整形外科へ～ 完全リニューアルのお知らせ

病棟紹介

8階東病棟・8階西病棟

登録医紹介

河島クリニック



お知らせ

手洗い・うがい・マスクトラ！  
マスクをして必ず予防トラ！

# マイタウン・マイホスピタル ～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれ合う病院に～

## ～治せる整形外科へ～

### 完全リニューアルのお知らせ

第一整形外科部長 竹内 大作



整形外科外来スタッフ 前列左から松本看護助手、菊地看護師、野中看護師、池田看護師、田野看護師。後列左から竹内部長(脊椎)、押久保医師(金曜手術ヘルプ)、奇原医師(外傷)、山本医師(手)、吉川副部長(肩膝・スポーツ)、関本医師(人工関節)

あれは忘れもしない2年前、教授室でのことでした。「頼む、お前にしか務まらないんだ」えっ、あそこは慶応の関連では？「慶応とは話がついている。あと1年で獨協に入れ替わる」……？それまで診療4割、教育3割、研究3割だった生活が、朝から晩まで診療漬けに一変しました。他大学の先生と働くのは異文化交流そのもので、楽しくもあり大変でもありました。そして1年後、那須赤十字病院整形外科は2020年4月に完全リニューアルしました。

#### 「治せる整形外科」

これは我々の教室・獨協医大整形の

スローガンでもあります。とにかく根本から治し、対症療法に逃げない。技術的未熟を理由に患者さんに背を向けない。そのために当科でも若手の経験の場という長年の体制を改め、各分野の専門医を取り揃えました。

これまで認定医不在のため認可されていなかった側方椎間固定術や後縦靭帯骨化症手術、リバーズ型人工肩関節といった手術も多数、当院でもできるようになりました。もう遠くまで出かける必要はありません。

#### 人生百年時代を頭からつま先までトータルサポート

自分の棺桶には自分の足で……と何となく皆さん思っているはずです。ところが神経障害、腰曲がり、変形性関節症、癌の骨転移……さまざまな原因でそれが叶わなくなります。脊柱管狭窄症なら圧迫を解除し、腰曲がりなら矯正し、軟骨がすり切れているなら人工関節に交換し、癌が転移しているなら取り除いて補強しなければなりません。働き詰めに働いて傷めた背骨や関節を、年齢を理由に後輩の僕らが見捨てるわけにはいきません。

昨年、頸椎手術は90歳、足の変形矯正手術は89歳の方に行い、これまでの最高齢記録を更新しました。もちろん若い人の「試合に出たい」「田植えに間に

合わせたい」といったニーズにも応えてまいります。



腰曲がりの矯正のため、潰れた椎間板を切除して人工骨に置換しています

#### 我々の10年計画

那須赤十字整形はこれまで地域の人に愛されていたと言えるでしょうか？昨年937件の手術中、半数以上が外傷の手術だったことからわかるように、救急車に愛されていただけかもしれません。

最初の5年で「治せる整形外科」を地域の方々に認知してもらえようになんばりたいと思います。この半年でも人工関節52件、関節鏡手術52件、脊椎手術87件と着実に地域のニーズに添えてまいりました。しかし5人ではマンパワー的に限界です。いかに治せたかを次の5年で国内の学会にアピールし、広く人材を募りたいと思います。そして10年後？もちろん世界です。これからも応援よろしく願います！

当院の看護部は約600人で構成されており、看護師・助産師・准看護師・保育士と様々な人員で構成され、個々の患者さんの状態に合わせた質の高い医療を提供します。第四回の今回は「8階東病棟・8階西病棟」を紹介します。



## 8階東病棟

8階東病棟看護師長 加藤 久賀

8階東病棟は脳神経外科、神経内科の混合病棟です。主に脳血管疾患、神経難病など手術後の急性期から、リハビリが必要な回復期までの患者さんが入院されています。私たちは、意識障害や手足の麻痺によって身回りのお手伝いを必要としている患者さんの手となり足となり、患者さんが少しでも早く意識が回復するよう、動かない手足が動くよう、声なき訴えを聞き、五感を研ぎ澄まし、知恵を絞り、日々の看護に奮闘しています。体力勝負、体育会系の元気で明るいスタッフが患者さんに寄り添い頑張っています。



## 8階西病棟

8階西病棟看護師長 高橋 才子

8階西病棟は、がんなどの命に関わる病気をもちの患者さんに対して、体の痛みや心のつらさを少しでも和らげるようなケアを行います。医師や看護師だけでなく、薬剤師や理学療法士、臨床心理士、管理栄養士などがチームとなり支援いたします。寄り添う心を大切にしながら、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるようにご家族を含めた支援を行います。また、季節ごとのイベントや病棟内の装飾、お誕生祝いなど有意義な時間を過ごせるよう環境を整えています。

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている登録医の先生を紹介していきます。

今回ご紹介する河島俊文院長は那須赤十字病院に10年間勤務され、10月より大田原市内で「河島クリニック」を開業されました。

診療科目：内科 外科 消化器内科 肛門外科  
得意分野：消化器疾患 内視鏡診断・治療 肛門疾患



院長 河島 俊文

## 先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

10年前に地元の那須赤十字病院に消化器外科医として戻って参りました。

東日本大震災の前年で当時は大田原赤十字病院でした。赤十字病院自体も被災し皆で助け合い、釜石へ救護隊として参加させていただきました。また、県北の最後の砦としての3次救急にも携わることができました。赤十字病院での多くの経験は自分を大きく育ててくださったと感謝しております。10年間の間に診療だけでなく与一まつりをはじめ様々な季節のイベントで医師、看護師、日赤職員の方々のみならず地域の人々、友人との交流ができたことは大変うれしく感じております。

那須赤十字病院の皆様との信頼関係のある自分ならではの連携があるのではないかと考えております。これまでの経験を活かし胃カメラ・大腸カメラを導入し良性疾患から悪性疾患の早期発見を目指して行きたいと思えます。当院では困難な内視鏡的治療、外科的な治療を消化器内科、消化器外科の先生方と連携しスムーズに紹介できるような心がけていきたいと思えます。また当院ではできない検査、特に、CT、MRI検査は患者さんの診断を行う際に欠かせないと

感じており、放射線科の先生方には引き続きご相談させていただきたいと思えます。様々な病気の患者さんが来院されており、より専門的な検査や治療を必要とする場合もあり、各科の先生方に相談し紹介させていただいております。また、当院で対応に厳しい緊急の患者さんを救急科の先生にお願いさせていただく機会も増えると思えます。困ったときの神頼みではございませんがよろしくお願いいたします。日赤時代には緩和ケアの病棟長として多くの患者さんと関わらせていただきました。現在、県北、大田原地区では、患者さんに対し在宅医が若干不足していると感じます。これまでの経験を活かし訪問看護チームとも連携をとり、地域医療に貢献していく所存でございます。病診連携室の方々にはこれからの一層お世話になると思いますのでよろしくお願いたします。

毎日忙しいと思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

栃木県内やいろいろな地方での食べ歩き飲み歩き（コロナ禍でなかなか厳しい状況となっておりますが）お酒をたしなむことが楽しみの一つです。あちこちで日本酒やワインの酒蔵巡りをしてきました。京都の伏見、神戸の灘、東京の澤乃井などをはじめ地元の酒蔵も観光がてら訪

れております。大田原は水とお米に恵まれリーズナブルでおいしい酒蔵が多く集まっております。また足利のココファーム・ワイナリーは青空が広がる山間の葡萄畑の中でシートを敷きワインを楽しむことができます。季節のおりに様々なイベントがあり参加しております。自宅では時々おいしいお酒に合うつまみを自分で作っております。数年前に父の日に燻製器を家族からプレゼントしてもらい燻製作りに挑戦しております。燻製という若干身構えてしまうかと思いますが半熟卵、ちくわ、ミックスナッツなど比較的簡単に調理できます。最近、作ったものではオリブオイルやほやの燻製がおいしくできました。また、燻製は作った日より数日、時間がたつと味わいが出てさらに楽しむことができます。興味のある方はぜひチャレンジしてみてください。

地域の方々、患者さんへ  
一言お願いします。

本年10月12日より大田原市の中心部ともいえるトコトコの近くの中央多目的公園となりクリニックを構えることとなりました。「笑顔と元気が咲く街に」をキャッチフレーズに、患者さんが安心して来院していただける家庭的なクリニックを目指したいと思っております。ちょっとした怪我や風邪などを含め内科・外科問わず対応させていただきたいと思っております。

これまで胃内視鏡や大腸内視鏡検査で苦しい思いをした方や、もともと苦手意識がある方でも、吐

き気や不快感を軽減した検査を受けていただけるよう準備しております。つらさを取り除くだけでなく正しい診断、治療が重要となります。また、新内視鏡システムも導入致し、今まで見えにくかった病変や小さな病変の早期発見に貢献する内視鏡検査となっております。胃カメラは細い内視鏡でありのどの不快感つらさが軽減されますが、ご不安な方には経鼻内視鏡(鼻から挿入する)も選択が可能となっております。大腸内視鏡という「痛い」「苦しい」「恥ずかしい」と悪いイメージの方も多いかと思えます。初めてで検査に対する不安が強い、以前つらい思いをされた等で困っている方は鎮静剤を併用する事で楽に検査を受けることができます。技術、知識、設備に思いやりを加え四拍子そろった「ここなら安心」と思える内視鏡検査を提供したいと思えます。

クリニックを開業し、おしりの病気(いぼ痔、切れ痔など)を気にされていらっしやる患者さんが多いと感じました。「お尻の病気をどこでみてもらったらいいのだろうか?」「診察を受けるのが恥ずかしい」と思われている方が多くいらっしやいます。お尻の病気は手術が必要な場合もあり消化器外科が専門で見る事が多い病気でございます。お悩みの方は当クリニックへのご相談をお待ちしております。

地元地域の皆様に貢献できるよう一歩一歩前進していく所存でございます。スタッフ一同、ご来院お待ちしておりますのでよろしくお願い致します。

基本情報



- 院長  
カワシマ トシフミ  
河島 俊文
- 住所  
大田原市中央2丁目9-32
- 電話  
0287-20-1192
- 診療科目  
内科 外科 消化器内科  
肛門外科
- 休診日  
水曜、日曜、祝祭日

## 病院ホームページ バナー広告募集

病院ホームページのトップページに広告を掲載しています。

### ■掲載位置

- A:全ページ左側の病院が指定する場所。
- B:全ページ下部の病院が指定する場所。

### ■掲載寸法

A枠:縦70ピクセル×横220ピクセル  
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

B枠:縦70ピクセル×横230ピクセル  
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

### ■掲載期間

一ヶ月を単位とし、最長1年

### ■募集枠

A枠:3

B枠:4

### ■掲載料金

A:15,000円/枠/月

B:10,000円/枠/月

### ■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

E-mail: nrchp@nasu.jrc.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.nasu.jrc.or.jp/>



# 面会禁止

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、原則面会は禁止とさせていただきます。

下記に該当する方は

『開庁日』

19時までは総合案内・19時以降は防災センター

『閉庁日』

15時から19時までは総合案内・19時以降は防災センターにお声がけ下さい。

- ・病院からご家族に面会要請が出されている場合
- ・手術・検査等で来院しなければならない場合
- ・退院のお迎えに来られた場合
- ・着替え等の荷物を搬入する必要がある場合
- ・必要な付き添いをする場合等

なお、院内ではマスクの着用と手指消毒をお願いします。

那須赤十字病院長・院内感染防止対策委員会

## 今月の表紙



当院が那須赤十字病院として、この地に移転してから早8年が経とうとしています。8年の間に情勢や設備、院内体制がめまぐるしく変わっています。変わる中でも変わらないのは、地域医療の要としての責務です。当院はこれから「地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院」として、皆さんと歩み続けます。

## 編集後記

めっきり寒くなってきました。今年もあと残りわずかとなりました。コロナ禍という初めての出来事に戸惑いながらも、あつという間に時間は流れたように感じられます。また感染の第3波もやってきておりますが、個人的、活動自粛を心掛けております。

栄養課 関口 清

## 本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください！

抽選で3名様に「CroKuma 救護服ぬいぐるみ」「CroKuma ナースぬいぐるみ」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

### ●応募先

郵 送 / 〒324-8686 大田原市中田原 1081-4

那須赤十字病院 総務課

プラタなす第31号 プレゼント係

F A X / 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第31号 プレゼント係」

メール / nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第31号 プレゼント係」

### ●応募締切り 2020年12月25日(金)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

## 那須赤十字病院

### 基本理念

マイタウン・マイホスピタル  
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

### 基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜まず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

## プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.31

発行日 2020年11月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷